



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 トーモク
 コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 中橋 光男

(氏名) 山口 禎人

TEL 03-3213-6811

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	36,381	△4.2	△249	—	△83	—	△116	—
2020年3月期第1四半期	37,987	4.8	△391	—	△369	—	△403	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 204百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △1,008百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△7.13	—
2020年3月期第1四半期	△24.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	148,902	64,665	43.1
2020年3月期	146,646	64,872	44.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 64,251百万円 2020年3月期 64,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	8.0	2,300	38.3	2,400	38.3	1,100	12.8	67.30
通期	185,000	4.8	7,500	8.5	7,700	8.3	4,800	5.2	293.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,341,568 株	2020年3月期	19,341,568 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,996,725 株	2020年3月期	2,996,664 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,344,864 株	2020年3月期1Q	16,345,860 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する外出自粛を始めとする緊急事態宣言のもと、極めて厳しい状況となりました。企業収益や雇用・所得環境の悪化、個人消費の減少など先行きへの不安が増幅する中で、感染症拡大の防止策を講じつつ社会経済活動の早期正常化が期待されますが、感染症拡大の第2波、第3波も懸念され、「新しい生活様式」のもとの景気の先行きは不透明な状況が続くと思われま

す。その中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は36,381百万円（前年同期比4.2%減）、経常損失は83百万円（前年同期は経常損失369百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は116百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失403百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの国内需要は、コロナ禍の中で需要分野別に増加・減少が鮮明になりました。薬品・洗剤、通販・宅配向け等は前年比増が見込まれますが、加工食品向けは外出自粛要請や在宅勤務等による「巣ごもり需要」の影響で減少幅は僅かとなり、一方で電気・機械・自動車向けや観光お土産品向けの需要は大幅な減少となりました。国内段ボール生産量は前年比マイナスで推移しました。

当社グループの国内段ボール生産量は前年同期比で若干マイナスとなりましたが、当社グループは飲料・加工食品向けの比率が国内平均より高いこともあり、全国の減少率までは落ち込みませんでした。

段ボールの売上高は、販売数量の減少等により23,801百万円（前年同期比4.1%減）となりましたが、営業利益は、数量減に伴う原材料コストの減少や働き方改革・デジタル化の推進等による生産性の向上により1,241百万円（同13.9%増）となりました。

〔住宅〕

住宅事業においては、4月から5月の住宅展示場への来場者が前年比9割減という厳しい状況が続き、スウェーデンハウス(株)の受注棟数は前年比マイナスとなりました。政府による住宅取得促進支援策は継続しているものの、コロナ禍の中で住宅取得に対する消費者の慎重さや、契約までの期間の長期化は一層顕著になっています。

スウェーデンハウス(株)では、スウェーデンハウスの様々な情報を発信するアプリ「ムースくん」の配信をスタートするとともにホームページを刷新し、バーチャル展示場などのWEB活用やオンラインでの商談など営業活動の変革に取り組み、また法人営業を強化し紹介受注の増大を図ってまいりました。

住宅の売上高は3,339百万円（前年同期比0.2%増）となり、売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあり、営業損失は1,720百万円（前年同期は営業損失1,760百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、関東地区・東北地区での新規営業所開設による売上高の増加はありましたが、ゴールデンウィークの外出自粛等の影響を受けて飲料関係を中心に取扱量が減少したことにより売上高は9,240百万円（前年同期比6.1%減）となりました。また、飲料関係の在庫増による倉庫費用の増加、車両不足やドライバー不足等によるコストの増加もあり、営業利益は418百万円（同18.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産や固定資産の増加等により、前連結会計年度末比2,256百万円増加の148,902百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金が減少しましたが、借入金やその他流動負債の増加等により前連結会計年度末比2,463百万円増加の84,237百万円となりました。純資産の部はその他有価証券評価差額金が増加しましたが、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比207百万円減少の64,665百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、2020年5月8日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,559	7,045
受取手形及び売掛金	29,524	29,650
電子記録債権	3,374	3,251
たな卸資産	10,543	13,651
その他	4,578	4,872
貸倒引当金	△69	△52
流動資産合計	58,510	58,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,435	24,092
機械装置及び運搬具(純額)	14,239	13,809
土地	33,032	32,993
その他(純額)	1,960	4,318
有形固定資産合計	73,667	75,213
無形固定資産	242	245
投資その他の資産		
投資有価証券	8,459	8,877
その他	6,022	6,403
貸倒引当金	△255	△255
投資その他の資産合計	14,225	15,025
固定資産合計	88,135	90,483
資産合計	146,646	148,902

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,666	17,068
短期借入金	3,676	5,003
1年内返済予定の長期借入金	4,657	4,275
未払法人税等	1,530	265
賞与引当金	1,758	864
その他の引当金	253	176
その他	7,700	11,925
流動負債合計	39,244	39,579
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,999	2,999
長期借入金	30,579	32,518
退職給付に係る負債	3,829	3,788
その他の引当金	644	566
その他	4,477	4,784
固定負債合計	42,529	44,657
負債合計	81,773	84,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,226	11,226
利益剰余金	41,268	40,742
自己株式	△4,320	△4,320
株主資本合計	61,844	61,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,874	3,164
繰延ヘッジ損益	△45	△6
為替換算調整勘定	△148	△155
退職給付に係る調整累計額	△61	△70
その他の包括利益累計額合計	2,618	2,932
非支配株主持分	409	413
純資産合計	64,872	64,665
負債純資産合計	146,646	148,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	37,987	36,381
売上原価	32,491	30,937
売上総利益	5,496	5,443
販売費及び一般管理費	5,888	5,692
営業損失(△)	△391	△249
営業外収益		
受取利息及び配当金	98	94
雑収入	119	149
営業外収益合計	218	243
営業外費用		
支払利息	42	40
固定資産賃貸費用	21	23
雑損失	133	14
営業外費用合計	197	78
経常損失(△)	△369	△83
特別損失		
固定資産処分損	24	9
減損損失	1	1
特別損失合計	26	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△395	△95
法人税、住民税及び事業税	243	256
法人税等調整額	△253	△244
法人税等合計	△9	12
四半期純損失(△)	△385	△107
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	9
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△403	△116

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△385	△107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△476	287
繰延ヘッジ損益	△10	38
為替換算調整勘定	△112	△6
退職給付に係る調整額	△23	△8
その他の包括利益合計	△622	311
四半期包括利益	△1,008	204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,026	196
非支配株主に係る四半期包括利益	18	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当社グループの2021年3月期においては、第1四半期に政府から発令された緊急事態宣言や自治体からの外出自粛要請等により厳しい制約の下で経済活動が行われるため、受注減が発生し、2021年3月期後半より回復する前提での仮定を置き、固定資産の減損会計における将来キャッシュ・フローや繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。前連結会計年度末より重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,815	3,333	9,839	37,987	—	37,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87	1	1,110	1,199	△1,199	—
計	24,902	3,334	10,950	39,187	△1,199	37,987
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,089	△1,760	516	△155	△236	△391

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△236百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△251百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,801	3,339	9,240	36,381	—	36,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	0	1,217	1,450	△1,450	—
計	24,034	3,339	10,458	37,831	△1,450	36,381
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,241	△1,720	418	△60	△188	△249

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△188百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△201百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。